

■天候概要

10月は比較的温かい日が多く、幸い霜の被害もなかったのですが、下旬からは一転して北海道らしい寒さとなりました。10月26日朝は畑にうっすら雪が積もり、山は積雪で真っ白となりました。11月に入ってから、雨が多く寒い日が続いています。これからは雪が降ったり解けたりの日が続きます。

■馬鈴薯

全般的に小振りです。大きなものは、品種を問わず中心空洞のあるものが多くなっています。収量は、美瑛地区は3割以上、北海道全般としても約3割程度の減収となった模様です。原料不足が確定的となりました。

剥皮後、表面に欠点のあるものや、右の画像のような中心空洞が多く発生しています。軟弱傾向であるため、来年の端境期まで保管できるのか、懸念されています。



トヨシロの中心空洞。今年は品種を問わず多い。

■にんじん

秋掘りの加工用品種(トロフィー等)も小振り。通常、大根の一回り小さい程度の大きさまで育つものが、今年は店頭で見慣れた程度の大きさとなっています。収量も少なく、受注状況によっては端境期の品薄或いは欠品という事態も想定されます。

右の画像のように、表面の割れたものが多い状況です。トリミング工程での除去作業を行っています。



スチームピーラーで剥皮後の人参。裂けたものが多く手間がかかっている。

■かぼちゃ

美瑛地区のかぼちゃは玉数が少なく、大幅な減収となりました。原料受入開始当初は、入荷があまりない状況でした。

右の画像のようなガンベ(表皮のできもの)が多く、全体の1/3にも達するものもあるため、生食用に出荷できない原料が加工用に回ってくるようになりました。

エビス種については、ほぼ必要量が集まりました。ただし、工程上はこのガンベ除去が手間のかかる作業となっています。



表皮のガンベ部分。通常は点々としている程度だが、今年は大きい。